

～経営管理の“解像度”を上げ、企業の成長を目指す～ 経営力を強化する データ管理・活用講座

研修のねらい

原材料高や人手不足の進展など、経営環境が大きく変化する中、経営者、部門管理者には、経験や勘に頼る判断から脱し、客観的なデータに基づく意思決定力が求められています。

本研修では、経営管理の基本エッセンスを体系的に学び、Excelという身近なツールを最大限に活用して、経営データを整理・分析・共有する方法を習得します。Excelのピボットテーブル等の活用やAIを組み合わせ、“共通認識に基づく合理的で速やかな意思決定”を実現するためのプロセスを体験します。経営データの活用手法を学びたい方にとって、リスクリングにも役立つ内容です。

研修のポイント

- 経営管理の基本エッセンスを体系的に習得できます。
- 合理的意思決定による組織運営手法について、演習を交えて解説します。
- 身近な Excel のポテンシャルを最大限に引き出し、専門的なツール無しでも実現できる手法の習得を目指します。

研修期間

2027年
1/27(水)～1/28(木)
(2日間、14時間)

対象者

経営者・経営幹部・管理者

- ・ 属人的なマネジメントに頼らざるを得ない現状を改革したい経営者や部門長
- ・ DXやAI活用に関心はあるが、現場業務への具体的展開に悩んでいる方
- ・ 現場主導で“組織を動かす”力を高めたい中堅リーダー

※本講座はExcel初級者以上(日頃の業務でExcelを使用する機会のある方)が対象となります。

定員 20名

受講料 22,000円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング

月日	時間	科目	内容
1/27 (水)	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	経営管理の基本と“共通認識”を生む見える化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営管理の基本は「自社のビジネスを活かした数字で捉えること」 ・ 「PDCA」ではなく「S-PDCA」で考える ・ 経営管理の体系(部門別管理、収益構造・KPI・PDCA)の理解 ・ 属人的管理脱却のカギは「データによる共通認識形成」 ・ 演習：経営管理の「押さえどころ」を考えよう
	13:40-17:40	ケース別に考えるデータを活かした経営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ よくある課題と対処法 ケース1：試算表と売上データはあるが、課題が曖昧 ケース2：予実管理が形骸化している ケース3：データを意思決定に活かしていない ・ データ活用のポイントは「適時適切」「必要十分」
1/28 (木)	9:30-12:30	Excelの潜在力とAIの活用で実現する自社独自の経営ダッシュボード	<ul style="list-style-type: none"> ・ Excelだけでここまでできる「経営管理の仕組みづくり」データ管理の基本と押さえどころ Excelだけでできるデータ分析とシミュレーション ・ 一歩進んだExcel活用を考えよう ・ 生成AIの活用で更に進んだ経営管理の仕組みをつくる 生成AIの基本と仕組みづくりでの活用シーン ・ 省力化/自動化の切り札としてのAI活用 ・ 演習：デモデータを活用した実践演習
	13:30-17:30	ケーススタディ	<ul style="list-style-type: none"> ・ “動かない組織”からの脱却を目指す改善手法の立案 ・ グループ演習：現状分析から仕組みづくり、施策立案
	17:30-17:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：14時間20分

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

講師紹介(敬称略)



オフィス ウェイブランニング
代表 中小企業診断士

三宅 秀和 (みやけ ひでかず)

立命館大学大学院理工学研究科修了後、大手建築設計事務所にて7年間、調査・企画業務に携わる。2009年中小企業診断士資格を取得。2010年経営コンサルティング会社に入社。チーフコンサルタントとして、主に中小・中堅企業を対象とした経営改善支援、社員教育、公的機関でのセミナー講師に従事。2016年独立。売上高数億円～50億円超の規模の企業に伴走型経営支援を行い、理屈だけではなく現場で実践できる支援をモットーとしている。